

リレー随想 第5回

「福岡いのちの電話」後援会理事

立花 英樹

(福岡商工会議所常務理事)



「アサガオに想う」

今年の九州は、気象庁の観測史上最も暑い夏だったそうです。まるで、熱が一杯に詰まった風船から熱い風が吹き出すような夏の暑さでした。

連日の日差しによるものか、我が家のベランダの片隅に置いていたプランターからアサガオが芽を出し、あっという間に緑のカーテンを作り上げてくれました。去年植えたアサガオの種が落ち、ベランダの隅に追いやられたプランターの中で、じっと夏が来るのを待ちかまえていたようです。あんな小さな種から大きく育つ命の力強さに改めて感心した夏でした。

先日、新聞を読んでいると「日本人の国民性調査によれば・・・」(注)という記事が目にとまりました。調べてみると、この調査は1953年(昭和28年)から5年に一度、20歳以上85歳未満の日本人男女に、ものの見方や考え方など個別に面接して聞き取り、日本人の意識の変化を明かにしようというものだそうです。

最新の2013年調査では、「あなたは幸福だと思いますか」との質問に「はい」と回答した人が何と94%にも達していました。また、「心のやすらかさは、ます(増す)と思いますか、へる(減る)と思いますか」という質問に対しては、「ます」と答えた人の割合は14%、2008年の調査では10%、反対に「へる」と答えた人の割合は2013年が56%、2008年が68%でした。わずかで

すが、心のやすらかさが「ます」と感じている人が増え、「へる」と思う人の割合は低下していました。私たち国民の気持ちが少しずつ明るい方向に向きつつあるのかもしれない。

一方で、日本は先進国の中でも特に自殺者が多い国ですが、最近は減少傾向にあるとのこと、こうした傾向が続くことを願わずにはられません。

「いのちの電話」は、人が本来持っている「生きる力」に気づかせる場所だと思っています。悩みで心が一杯になり、それでも誰にも相談できず孤独の中にいる人が、「いのちの電話」の相談員の方々と話すことで、ギリギリまで張っていた気持ちを緩めたり、明日を迎える力を取り戻されたりしているのだと思います。私も「いのちの電話」後援会の一員として少しでも役立つよう努めます。

我が家のアサガオも昨年と同じようにプランターの中に種を残し、次の夏に備えているようです。また来年も命の力強さに感心したいと思います。

(注) 中村 隆・土屋 隆裕・前田 忠彦 2015 「国民性の研究 第13次全国調査-2013年全国調査-」 統計数理研究所 調査研究リポート No.116.より

福岡いのちの電話

「自殺防止公開講座」

第1部 「自殺とマスメディア報道」

講師:高橋 祥友氏 筑波大学教授

第2部 「自殺やいじめをどのように報道するか」

鼎談:高橋 祥友氏、

永田 工氏 朝日新聞記者

林 幹男 福岡いのちの電話理事長

自殺!? ちょっと待って!

— 思いとどまってもらうために —

と き 2016年10月22日(土)

14:00~16:15(開場13:30)

ところ 福岡明治安田生命ホール